

「社会的インパクト投資」とは より良い社会をつくるための投資が 世界で広がっています



SDGs- 持続可能な未来のための17のゴール

2015年、国連において、世界のリーダーたちが、2030年までに世界をよりよく変えるための17のゴール、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) に同意しました。SDGへの関心は世界で急速に広がっており、150を超える国が、「貧困をなくそう」、「ジェンダー平等を実現しよう」「気候変動に具体的な対策を」などのゴールの達成に全力で取り組んでいます。



SDGsの目標達成に必要な資金

最大7兆ドル※

※ 756兆円相当 (1ドル=108円で換算)



現在調達されているのは
1.4兆ドルのみ

SDGs達成のために
必要な資金が足りません¹



SDGsを含む社会課題解決のために世界で注目を集めている「社会的インパクト投資」とは

社会的インパクト投資は、よりよい社会をつくるための、新しい投資のカたちです。通常の投資のように経済的な利益(リターン)のみをめざすのではなく、**社会や環境における課題の解決を図りながら経済的な利益(リターン)をめざす投資**のことです。例えば、環境保全、子育て支援、医療・介護費の削減などの社会課題の解決を積極的に目指す企業の株式やそれらを組み入れた



投資信託への投資、投資型クラウドファンディングなどの金融商品への投資などがこれにあたります。

投票で社会を変えることができるように、社会的インパクト投資を通じて、私たち一人一人が、社会が抱えている問題を解決に導くことができ、私たちが思い描く社会をつくることができます。日本には1,860兆円²の家計金融資産があり、個人がこれらの資産の一部を社会的インパクト投資に振り向けることで、資金の不足が解消し、よりよい社会が実現するのです。



世界の「社会的インパクト投資」市場は飛躍的に成長、日本はまだまだ小規模

世界の社会的インパクト投資の市場は大きく成長し続けています。背景には、世界的な、SDGsの広がり、気候変動への対応、女性の地位向上への注目などがあります。



国内初

「社会的インパクト投資という言葉を知っていますか？」

当財団³は、日本において社会的インパクト投資を広めるために、金融機関等と新しい投資機会を創出し、自らも投資を行いながら、調査研究や情報発信などを行ってまいりました。この度、国内における社会的インパクト投資の認知・理解の実態を把握するため、一般消費者を対象に調査⁴を行いました。

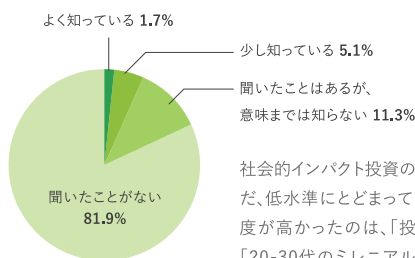
の3人に2人が...

私には世界を良くする責任があり、その為の投資を選択したい



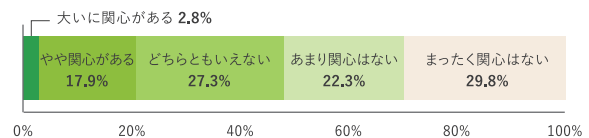
先進地域においては、一般市民の社会的インパクト投資に対する選好意識が高く、社会的インパクト投資に早くから取組んできた英国では、国民の3人に2人が、社会課題の解決を意識した投資に対する高い関心を示しています。

FACT #1 「社会的インパクト投資」の意味を少しでも知っている人は全体の6.8%



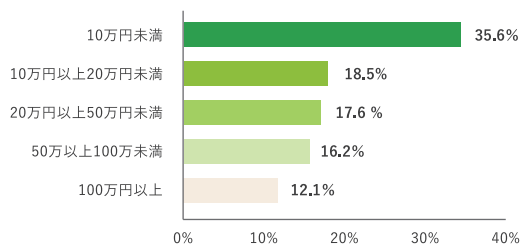
社会的インパクト投資の認知度は、まだ、低水準にとどまっています。認知度が高かったのは、「投資経験者」、「20-30代のミレニアル世代」「高年収世代」。

FACT #2 「社会的インパクト投資」商品を買ってみたい人は全体の20.7%



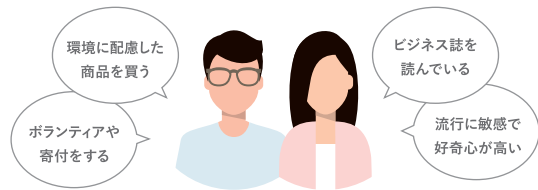
購入関心度が高かったのは、認知度同様、「投資経験者」「20-30代のミレニアル世代」「高年収世代」。また、「社会的インパクト投資への認知」「ボランティア・寄付の経験者」にも高い相関がありました。自分自身の年金等の資産を運用する資産運用会社がインパクト投資を行うことに対しては、購入関心があると答えた人の75.5%が肯定的でした。

FACT #3 「社会的インパクト投資」に回してよい金額は71.7%が50万円未満



社会的インパクト投資に関する一般消費者意識調査 詳細はこちら www.siif.or.jp

！ ミレニアル世代が、今後の「社会的インパクト投資」の成長を牽引。



投資リテラシーの向上、「社会的インパクト投資」への理解の深耕、投資機会の拡大が求められる。

社会的インパクト投資は、投資を通じて社会課題を解決し、よりよい社会を実現する方法のひとつです。社会変革推進財団(SIIF)は、社会的インパクト投資等の推進を通じて、社会課題解決と多様な価値創造が自律的・持続的に起こる社会の実現を目指していきます。

1 UNCTAD, World Investment Report 2014 https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/wir2014_en.pdf 2 日本銀行 主要時系列統計データ表 https://www.stat-search.boj.or.jp/ssi/mtshtml/ff_q_1.html 3 一般財団法人社会変革推進財団(SIIF, Social Innovation & Investment Foundation)は、2019年10月1日付けで、一般財団法人社会的投資推進財団(SIIF)と一般財団法人社会変革推進機構(IASI)の合併によって生まれた新組織です 4 <調査概要> 委託先:株式会社マクロミル、対象:全国の一般消費者、サンプル数:2071人(回答者数)、抽出方法:全国の性別比率や年齢帯比率に近似するように、層化二段無作為抽出を行った、調査形態:インターネット調査、調査期間:2019年8月19日~21日、*調査結果の詳細については、別添、「インパクト投資に関する一般消費者調査」をご参照ください。